

invisalign go DOCTOR

インビザライン Go

VOL.
03

一般歯科におけるインビザライン Go の使い方

Jul. 2022

山根 茂樹 先生

マナミ歯科クリニック 院長
銀座並木通り歯科 院長

出身大学／東京歯科大学卒業 同大学院博士号取得
専門／インプラント フルマウス治療 マイクロスコープ



山根先生にとっての、インビザライン Go とは

インビザライン Go の導入理由

インビザライン Go を導入する前の当院の治療は、GP として歯を動かすというオプションを持ち合わせていなかったため、補綴介入が多く、欠損補綴のスペースコントロールや、適切な咬合を求めることが難しかったです。インビザライン Go は、アライン・テクノロジー社が蓄積

した症例数から導かれ、大臼歯を動かさない点にメリットを感じたため導入をしました。また、インビザライン Go を介入させることで、一口腔単位の MI を実現させ、包括歯科治療を患者様に提供することができます。

既存患者様へのカウンセリングのポイント

インビザライン Go をお勧めした方が良い患者



歯科医師からお勧めする

- 自費の補綴を考える患者（補綴前矯正）
- 適切なアンテリアカップリングが得られないことにより、補綴の脱離を繰り返す患者



衛生士からお勧めする

- 衛生士からは、メンテナンスに来ている患者様のなかで叢生により、プラークコントロールが難しくなっている患者
- 過去矯正をしていたが、後戻りをしてしまった患者

Point 01 補綴の治療前に、このように患者さんにお伝えします…

『審美的に美しい被せ物や詰め物を入れたければ、矯正治療によって、歯を正しいポジションに動かしてから行ったほうが、より自然で機能的な、歯を極力削らずに仕上げることができます。治療のゴールの満足度ははるかに違います。』

Point 02 メンテナンス時に、このように患者さんにお伝えします…

『一生懸命メンテナンスに来て頂いているのに、毎回歯石や汚れが付いてしまっているのは歯並びの影響なのです。メンテナンスのしやすい歯列をつくることで、虫歯や歯周病の予防に繋がります。矯正治療は究極の予防と言われています。』

Point 03 iTero のスキャンのきっかけは、必ずしも矯正ではない

1. 患者が気にすることは……？ → 2. ビューワー機能を使い、1 の話をする → 3. 結果以下の治療に繋がる → 4. 矯正も提案する



インビザライン Go をお勧めしない方が良い患者様

- 矯正治療に過度の期待をしている患者
- 審美的欲求が高すぎる患者
- とにかく急いで治そうとする患者
- コンプライアンスが悪そうな患者
- 💡 **トラブルを防ぐために、カウンセリング時に必ずお伝えしていること**
 - ・ コンプライアンスの厳守、特に装着時間を守ること
 - ・ 追加アライナーの可能性、治療期間は長めに伝える
 - ・ 治療後の咬合調整、既存の補綴のやり変えの可能性

インビザライン Go の症例解説

症例 01 上下顎叢生

矯正治療後に患者様の要求が高まり、
ベニア治療を施した例

年齢・性別 41歳・男性

治療期間 16ヶ月（20ステージ）
（追加アライナー2回）

歯並びの主訴 前歯の歯並び

矯正のきっかけ 全顎矯正までの費用は払えないが、歯並びをよくして歯磨きをしやすいしたい

治療時の工夫 チャレンジングケースなので追加アライナーと前歯部の補綴介入の可能性を、予め説明したうえでスタートを行った。上顎2番のジャンプ時に早期接触が起こるので、交換時期を長くし食事の時間を短く、つける時間をより長くしてもらい、追加時に咬合調整を行った。クリンチェック治療計画の通り、左上2番の叢生が少し残った為、ベニア治療を施した。



症例 02 インプラント前の前歯部叢生改善・スペースコントロール

年齢・性別 48歳・女性

治療期間（矯正） 9ヶ月（16ステージ）
（追加アライナー1回）

治療期間（補綴） 3ヶ月

歯並びの主訴 前歯の歯並び

矯正のきっかけ 奥歯にインプラントをしたいという相談で来院された。インプラント前に矯正をするメリットをお話し、叢生を治してスペースコントロールをすることになった。

治療時の工夫 最終補綴、インプラントを考慮した位置にクリンチェックを仕上げるため、細かい調整を行った。



インビザライン Go の症例解説

症例
03

下顎叢生／ディープバイト

導入初期に選択した症例

年齢・性別 46歳・女性

治療期間（矯正） 10ヶ月（20ステージ）
（追加アライナー1回）

治療期間（補綴） 2ヶ月

歯並びの主訴 前歯の歯並び

矯正のきっかけ 前歯の被せものをやり直したいとご相談があった。下の前歯の並びもできたら直したい。

治療時の工夫 叢生量が大きいのでIPRをしっかりと行った。歯冠高径が低いのでアライナーの交換期間を長めにした。補綴やり換え時の後戻り防止の為、最終アライナーをカットして保定用に使った。また、簡易的な斬間リテーナーを作成して保定用に使った。



銀座並木通り歯科



© 2023 Align Technology, Inc. All rights reserved.

Align, Invisalign, iTero, exocad, Viverraなどは、Align Technology, Inc.またはその子会社もしくは関連会社の商標および/またはサービスマークであり、米国および/またはその他の国において登録されています。

本資料にて示される臨床情報および推奨される内容については、インビザライン Goシステムを使用する一歯科医師の立場における個人的な見解に基づくものであり、実際に臨床応用されるか否かについては、あくまで担当医の個人的裁量、判断、責任に委ねられるべきものです。

販売名：iTeroエレメント、承認番号：22900BZX00222000

販売名：クリンチェック・ソフトウェア、承認番号：23000BZX00197000



インビザライン・ジャパン株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル

218757 Rev B